

砂子澤富美子議員



質問①

乗合ワゴンについて

問 町内に乗合ワゴンがある事は知られているものの、内容や詳細が周知されていない事も多いのが現状です。現況含め今後について伺います。

答 令和6年度は延べ利用人数546人、月平均約50人、令和7年度は令和8年2月末現在で延べ利用人数1414人、128人、乗降場所を追加した令和6年11月以降増加、特に新規利用者が増加しました。

問 町民からのご意見について

答 役場に電話等で直接の連絡、ドライバーを通じての情報など様々で、好評の声を頂いている一方で、乗降場所が少ない、町外まで利用出来たら良い、土日の運行、高齢者の会合の場等で説明してほしい等の意見がありました。

問

土日祝祭日の運行計画

答 ご要望もあることから、令和8年度は10月から12月の3か月間、試行的に土曜日運航を実施、その利用状況を勘案し、休日などを含めた今後の運行について考えていきたいと思っています。

問

車椅子車輛の導入の予定

答 この乗り合いワゴンは基本的にご自身で安全に乗り降りができる方を対象としており、車椅子車輛の導入は考えていません。ほかの介護や福祉の制度があり、その中で福祉車輛を用いたサービスをご利用頂く事と考えています。

問

町民への周知方法

答 ホームページや定期的な広報誌での周知、三和医院やアポイ山荘、保健センター等へのポスターの掲示、ワゴンの電話番号等を表記した名刺サイズのカードを各施設のカウンターに設置。また自治会長会議で説明し、自治会員に呼び掛けて頂いたり、高齢者学級や介護サポーターの会合等に出向いて周知の取り組み

問

今後の課題・展開

答 利用者数も増加し、徐々に便利な移動手段と認知されてきていますが、さらに利便性向上を図り、本庁に適した交通サービスを目指したい。また郵送運転者講習受講補助の取り組みを行い、将来に向けての人材確保も進めていきたいと考えています。

質問②

表彰について

問 2年前に子供達の表彰について一般質問をした際、今後学校と情報共有しやりとりを行うとの答弁を頂きましたが、その後について伺います。

答 継続的に取り組んでいる事に今後も積極的に取り組んで参ります。

問

今後の在り方について

答 特に見直す考えはないが、引き続き取り組んでいきます。表彰は子供達の喜び、やる気、仲間を応援する気持ちにもつながります。学校での表彰は現在行われていません。

答 が、来年度は小学校のカリキュラムを40時間削減、それでもなお予備として40時間を取っていると同じでした。その中の数分を表彰に充てる事はそんなに難しいでしょうか。また他町では表彰者等を役場前に垂れ幕を掲げて応援をされています。町の活性化にもつながると思いますが。

問 小中学校ともにタイミングがあれば今後図っていきたい。垂れ幕はなかなか見づらい部分や費用・技術的な部分もあり新年度は諦めました。三角地に設置した看板の利用や町でも取り組むとすれば、何らかの基準を作りながら取り組んでいきます。

問 11月の町の表彰式については来年度から一般席を設けて参観を希望される方に見て頂きたいと考えております。

質問③

類似町の福祉サービスの現状について

問 町長は福祉の充実を施政方針にも挙げられていますが、サービスを受けている・いないに関わらず、町民からの聞き取り、確認方法についてお考えを伺います。

問

潜在的なニーズを掘り起こし早期につなげることに取り組んでいます。

問

類似町で出来ない課題・方向性について

答 障害福祉の事業所は他町を頼っているのが現実。課題を把握し、利用者ご家族や他町とも連携して類似町の役割を果たしたい。

問

第9期高齢者福祉計画、介護保険事業計画・障害者計画及び障害者福祉計画との整合性について

答 その都度他の計画と参照し整合性を確認し、共有データを活用して施策の方向性にずれがない様調整しています

問

今後の類似町の福祉について現状を踏まえて町長のお考えをお聞かせ下さい。

答 福祉の充実には行政の大切な柱である、という思いでそのための取り組みを日々進めて参りたい。

鈴木隆議員



質問①

特別養護老人ホーム「ソビラ荘」について

問 補助金が今年度予算計上されているが、その経緯説明を求めます。

答 介護人不足と入居者不測の為、数年単年度では赤字が続いている為、令和7年12月22日に支援についての要望書が出され、添付された資料を基に町で検討し、4000万円の経営補助予算を令和8年度予算に計上する事とし、町予算案に追加しました。

問

運営法人の経営困難が伝えられているが、最大の原因はなんだと分析していますか。

答

一つ目として、介護人不足により人材派遣会社を利用せざるを得ず、ここ数年で紹介経費の支出が大きかった。二つ目として物価高騰の影響がある。三つ目として入所者の介護報酬より人件費が余計にかかってしまった。四つ目として施設維持費や個室運営の為、人件費が余計にかかってしまう。

問

今後の運営方針はどのようなになっていますか。

答 法人より「今後におきましても、皆様が安心して暮らせる介護保険サービスを維持したいと考え経営努力に努めてまいります」と言っていますので、町としてもそのように認識しております。

問

介護保険の施設は介護報酬（公定価格）で収入が決まります。この介護報酬が今の物価高騰に対応していなく、また、給与が他の業種に比べて低いため、人材も確保できない実態があります。介護報酬の改定を「町村会」として国に強く求めるべきと考えますが、その認識はありますか。

答

すでに国に対して意見を出しており、令和7年11月19日に出された要望では「医療・介護等の人材の確保について」や「職員の処遇改善」がその内容です。今は国の方で策を練っている段階だと思われまます。

質問②

類似町鳥獣被害防止計画について

問 この計画書の策定経緯について説明を求めると、国道への許認可があるのかについて

答 3年ごとに作っており、北海道と協議しています。

問

町民に対して「パブリックコメント」等の実態はどうなっていますか。また町民に対しての周知方法はどうか考えていますか。

答

北海道はもちろん、農業関係者から常日頃被害情報もお聞きしていましたのでパブリックコメントなどの手法は取っております。策定後は類似町のホームページに掲載して公表しています。

質問③

類似町のトイレ水洗化率について

問 町の水洗化率の低さに、驚きを禁じえません。今後のトイレの水洗化の計画はどうなっていますか。特に鵜苦地域のトイレ水洗化の進捗状況はどうなっていますか。



問

駆除対象動物の選定は何を基準にしていますか。

答 対象動物は農林水産業や住民生活に影響を及ぼしかねない動物、エゾシカ・ヒゲマ・キツネ・タヌキ・アライグマ・カラス類としております。

答

令和6年度末の下水道配水区域内人口2937人の内、水洗トイレ設置済みの人口は2586人、水洗化率は88%、下水道未接続の世帯は148世帯となっています。次に、下水道区域外の人口806人の内、合併処理浄化槽人口は315人、水洗化率は39.1%。合併浄化槽未設置が319世帯。町全体の水洗化率は77.5%、未水洗化の世帯は467世帯となっています。それから、鵜苦地域のトイレ水洗化の進捗状況についてですが下水道区域外となっており、合併浄化槽の設置について町の補助が受けられる地域となっていますが水洗化の状況として水洗化率32%で103世帯が水洗化されていない状況です。全体として特に鵜苦地区は少し低い状況であります。類似町浄化槽設置整備事業補助金交付要綱の中の補助金の金額の嵩上げなどの検討を進め、各課各係と連携しながら、水洗化率の向上を図っていききたいと考えています。